

令和 2 年度保健所圏地域・職域連携推進事業実績報告まとめ（特徴）

< 協議会・作業部会の開催状況 >

開催状況		保健所数		
協議会開催	開催中止	7		
	1回開催	9		
		会議（集合）開催	1	
	書面開催	8		
作業部会開催	開催なし	2		
	開催中止	3		
	1～2回開催	11		
		13回	会議（集合）開催	8
			会議（Zoom）開催	1
書面開催	4			

< 共同事業の実施状況（一部抜粋） >

保健所	実施状況
市川HC	Web教材作成支援
松戸HC	オンデマンド講座（県公式セミナーチャンネル）
野田HC	健康講演会を書面形式開催
	講師と事業所向けオンラインフィットネステストを考案、プレテスト実施
	リーフレット作成→協議会構成機関の既存の広報誌等へQRコード掲載

< 課題について（一部抜粋） >

○協議会・作業部会の開催に関して

- ・協議会委員が集まり議論する場がないため、活動に反映させることが難しい。
- ・協議会等を書面開催したため、直接的な対話ができず、事業への理解度や反応を肌で感じるのが難しかった。また、活発な意見交換が難しい。
- ・協議会を書面開催等で開催することにより、担当者の顔が分からなくなり、関係性の希薄化や、協議会委員のモチベーション低下につながる懸念される。
- ・書面開催ではニュアンスや雰囲気を読み取れない為、率直な意見交換が難しい。
- ・書面開催では言葉の補足ができないため、わかりやすい会議資料の作成に苦慮した。

○共同事業に関して

- ・新型コロナウイルスの影響で出前講座やイベント等による普及啓発活動ができない。普及啓発の機会が減少しており、普及啓発の場の確保が課題。
- ・オンデマンド講座の視聴者の情報や理解度がわからない。アンケート等で対象者の状況を把握することが必要。
- ・コロナへの不安や生活の変化により、「コロナ不眠」等、コロナ禍における新たな課題が生じている。